



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月1日

上場取引所 東

上場会社名 日新製鋼株式会社  
 コード番号 5413 URL <http://www.nisshin-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三喜 俊典  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 榊 信行

TEL 03-3216-5566

四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	409,920	△10.8	6,930	△55.0	4,552	△73.3	0	△100.0
27年3月期第3四半期	459,731	10.0	15,406	23.1	17,036	△1.9	12,930	7.0

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △4,572百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 20,550百万円 (△18.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	0.00	—
27年3月期第3四半期	124.04	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	750,517	261,697	33.9
27年3月期	770,591	271,997	34.1

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 254,411百万円 27年3月期 262,918百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	549,000	△11.1	11,000	△47.8	6,500	△67.0	1,000	△94.1	9.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	109,843,923 株	27年3月期	109,843,923 株
28年3月期3Q	223,967 株	27年3月期	219,728 株
28年3月期3Q	109,621,953 株	27年3月期3Q	104,238,962 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) 重要な後発事象	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）のわが国経済は、政策効果等を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く一方、海外では、中国および新興国経済の減速が顕在化する展開となりました。

鉄鋼業界におきましては、国内鋼材需要の回復に力強さを欠くなか、在庫調整は長期化しており、海外でも中国の構造的な過剰生産能力に起因するアジア鋼材市況の下落が輸出環境悪化を招くなど、厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループは、収益確保を確実なものとするべく、需要動向や在庫水準を踏まえた慎重な生産を徹底するとともに、グループ一体となった合理化・総コスト削減活動を一層強力に推進してまいりました。しかしながら、原料市況下落による在庫評価損の発生、中国経済の減速による国内外の鋼材市況軟化等の影響が大きく、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高4,099億円（前年同期比498億円減収）、営業利益69億円（同84億円減益）、経常利益45億円（同124億円減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益0億円（同129億円減益）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少（△35億円）、たな卸資産の減少（△45億円）、投資有価証券の減少（△78億円）等があり、前連結会計年度末（平成27年3月末）より200億円減少し、7,505億円となりました。

負債は、有利子負債の減少（△60億円）等があり、前連結会計年度末より97億円減少し、4,888億円となりました。

純資産は、その他の包括利益累計額の減少（△43億円）、剰余金の配当（△60億円）等があり、前連結会計年度末より102億円減少し、2,616億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、東京五輪関連の基盤整備需要や消費税増税を見据えた駆け込み需要などにより、引き続き回復基調を辿ることが期待される一方、中国および新興国経済の動向に加え、米国の金融政策正常化や地政学リスクなどが世界経済に与える影響が懸念されます。

鉄鋼業界におきましては、国内鋼材需要は緩やかながらも回復基調にあり、在庫調整にも一定の進展が見られるものの、中国の生産能力過剰は構造的な問題であり、解決には時間を要するものと思われま

す。

このような状況のなか、当社グループは24号中期連結経営計画の総仕上げに向け、統合シナジー効果の最大化、成長戦略の具現化および構造改革の推進にグループ一丸となって取り組み、いかなる経営環境においても収益を確保できるよう「稼ぐ力」の徹底強化を図ってまいります。

以上の経営環境や施策の取り組みを勘案し、このたび平成28年3月期通期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の連結業績予想は、売上高5,490億円、営業利益110億円、経常利益65億円、親会社株主に帰属する当期純利益10億円と、平成27年10月30日に開示した予想数値から修正することといたしました。

なお、当社は、平成28年3月期の期末配当を未定としておりましたが、連結業績に応じた安定的な配当を念頭に、足元の業績および今年度の見通しを踏まえ、1株につき25円（年間配当金としては1株につき40円）とさせていただく方針といたしました。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### （税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### （会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上する方法に変更いたしました。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経常利益は491百万円、税金等調整前四半期純利益は1,947百万円それぞれ減少しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が1,947百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,300	22,775
受取手形及び売掛金	79,032	78,380
有価証券	5,000	-
たな卸資産	144,212	139,681
その他	26,528	20,898
貸倒引当金	△639	△483
流動資産合計	280,433	261,251
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	74,763	75,478
機械装置及び運搬具(純額)	103,115	109,764
土地	71,828	71,827
その他(純額)	17,983	14,050
有形固定資産合計	267,690	271,120
無形固定資産	10,081	12,117
投資その他の資産		
投資有価証券	137,766	129,899
退職給付に係る資産	43,247	43,901
その他	31,986	32,990
貸倒引当金	△614	△762
投資その他の資産合計	212,385	206,028
固定資産合計	490,157	489,266
資産合計	770,591	750,517
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,576	86,110
短期借入金	78,672	84,959
引当金	232	134
その他	43,676	42,988
流動負債合計	211,158	214,192
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	161,161	148,788
特別修繕引当金	13,911	14,004
その他の引当金	1,506	1,402
退職給付に係る負債	42,552	42,994
その他	18,303	17,438
固定負債合計	287,435	274,627
負債合計	498,594	488,820

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	91,099	76,345
利益剰余金	74,160	84,779
自己株式	△541	△548
株主資本合計	194,719	190,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,356	21,841
繰延ヘッジ損益	191	△303
土地再評価差額金	388	389
為替換算調整勘定	17,741	16,341
退職給付に係る調整累計額	26,521	25,565
その他の包括利益累計額合計	68,199	63,834
非支配株主持分	9,078	7,285
純資産合計	271,997	261,697
負債純資産合計	770,591	750,517

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	459,731	409,920
売上原価	407,173	366,541
売上総利益	52,558	43,379
販売費及び一般管理費	37,152	36,449
営業利益	15,406	6,930
営業外収益		
受取利息	137	128
受取配当金	1,282	2,108
為替差益	3,576	399
持分法による投資利益	3,466	-
その他	844	1,474
営業外収益合計	9,307	4,110
営業外費用		
支払利息	3,783	3,162
出向者労務費差額負担	1,467	1,557
持分法による投資損失	-	779
支払手数料	1,248	-
その他	1,177	989
営業外費用合計	7,676	6,488
経常利益	17,036	4,552
特別損失		
固定資産除売却損	397	336
減損損失	-	882
投資有価証券売却損	-	95
投資有価証券評価損	-	195
火災損失	705	-
特別損失合計	1,102	1,509
税金等調整前四半期純利益	15,934	3,042
法人税等	2,625	2,794
四半期純利益	13,308	247
非支配株主に帰属する四半期純利益	378	247
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,930	0

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	13,308	247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,121	△1,525
繰延ヘッジ損益	1,466	△587
為替換算調整勘定	40	△1,474
退職給付に係る調整額	△1,262	△936
持分法適用会社に対する持分相当額	1,875	△297
その他の包括利益合計	7,241	△4,820
四半期包括利益	20,550	△4,572
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,281	△4,366
非支配株主に係る四半期包括利益	269	△206

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成27年5月15日開催の取締役会において、会社法第452条及び第459条の規定に基づき、その他資本剰余金をその他利益剰余金に振り替えることを決議いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が123億10百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

## (5) 重要な後発事象

## (会社分割)

当社は、平成28年2月1日開催の取締役会において、当社の市川製造所を含む塗装・建材市場に係わる鋼板製造販売事業（以下、「対象事業」という。）を分割し、当社の100%子会社である日新総合建材株式会社に承継させる吸収分割契約を締結する決議を行い、同日付で当該吸収分割に係る契約を日新総合建材株式会社と締結いたしました。

## 1) 分割の目的

当社の創業事業である塗装・建材市場向け鋼板製造販売事業において、迅速なニーズの取り込みと商品開発・市場開発が可能な事業体制を構築するため、当社が保有する対象事業の素材開発力・コスト競争力・販売ルートと、日新総合建材株式会社が保有する軽量型鋼を通じた住宅部材メーカーへの展開力および金属サイディング販売で培った工務店等への訴求力とを組み合わせたワンストップの会社を新発足し、当社グループにおける対象事業のコスト競争力、開発力および販売力を強化します。

新発足会社は、お客様に新たな価値を提供することで、建築需要を自ら創造し、建物に新たな性能と付加価値をもたらしていく独創的な鉄鋼建材メーカーを目指します。

## 2) 分割の概要

## ① 対象となった事業の名称およびその事業内容

当社の市川製造所を含む塗装・建材市場に係わる鋼板製造販売事業

## ② 分割の効力発生日

平成28年4月1日（予定）

## ③ 分割の方式

当社を吸収分割会社とし、日新総合建材株式会社を吸収分割承継会社とする吸収分割

## ④ 分割後の分割承継会社の名称

日新製鋼建材株式会社

## I. 平成27年度第3四半期決算

## 1. 損益状況等

(億円)

	No	H27年度4-12月					H26年度 4-12月 (実績) f	差異		
		上期		(実績) c	下期			① e-f	② d-b	
		4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b		10-12月 (実績) d	(実績) e				
売上高	1	1,372	1,395	2,767	1,332	4,099	4,597	▲ 498	▲ 63	
営業利益	2	10	53	63	6	69	154	▲ 85	▲ 47	
経常利益	普通鋼・特殊鋼	3	38	56	94	31	125	125	0	▲ 25
	ステンレス	4	▲ 20	▲ 20	▲ 40	▲ 40	▲ 80	45	▲ 125	▲ 20
	計	5	18	36	54	▲ 9	45	170	▲ 125	▲ 45
親会社株主に帰属する四半期純利益	6	12	8	20	▲ 20	0	129	▲ 129	▲ 28	
在庫評価	普通鋼・特殊鋼	7	▲ 10	▲ 10	▲ 20	▲ 20	▲ 40	▲ 10	▲ 30	▲ 10
	ステンレス	8	▲ 15	▲ 15	▲ 30	▲ 30	▲ 60	35	▲ 95	▲ 15
	計	9	▲ 25	▲ 25	▲ 50	▲ 50	▲ 100	25	▲ 125	▲ 25
経常利益 <実カベース>	普通鋼・特殊鋼	10	48	66	114	51	165	135	30	▲ 15
	ステンレス	11	▲ 5	▲ 5	▲ 10	▲ 10	▲ 20	10	▲ 30	▲ 5
	計	12	43	61	104	41	145	145	0	▲ 20

## 2. 諸元

	No	H27年度4-12月					H26年度 4-12月 (実績) f	差異		
		上期		(実績) c	下期			① e-f	② d-b	
		4-6月 (実績) a	7-9月 (実績) b		10-12月 (実績) d	(実績) e				
粗鋼生産量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	1	79	79	158	78	236	248	▲ 12	▲ 1
	ステンレス	2	15	19	34	16	50	55	▲ 5	▲ 3
	計	3	94	98	192	94	286	303	▲ 17	▲ 4
販売数量 (万トン)	普通鋼・特殊鋼	4	74	76	150	75	225	238	▲ 13	▲ 1
	ステンレス	5	12	13	25	12	37	45	▲ 8	▲ 1
	計	6	86	89	175	87	262	283	▲ 21	▲ 2
鋼材平均単価 (千円/トン)	7	124	120	122	114	119	127	▲ 8	▲ 6	
輸出比率 (金額ベース, %)	8	17	16	16	14	16	17	▲ 1	▲ 2	
輸出為替レート (円/ドル)	9	121	122	122	121	122	106	16	▲ 1	

## 3. 経常利益差異内訳

①H26年度4-12月 (実績) 対 H27年度4-12月 (実績) (億円) (内ステンレス)

H26年度4-12月 (実績)	170	変動要因	45
変動要因	▲ 220	価格差▲200、数量構成差▲70、輸出為替差 50	▲ 65
購買関連	265	鉄鉱石 200、石灰 30、油類 75、ニッケル原料 110、 輸入為替差▲180	75
コスト改善等	0	合理化等	0
子会社等	▲ 45	海外子会社等▲45	▲ 40
在庫評価	▲ 125	25→▲100(内ステンレス 35→▲60)	▲ 95
計	▲ 125		▲ 125
H27年度4-12月 (実績)	45		▲ 80

②H27年度7-9月 (実績) 対 H27年度10-12月 (実績)

(億円) (内ステンレス)

H27年度7-9月 (実績)	36	変動要因	▲ 20
変動要因	▲ 55	価格差▲35、数量構成差▲20	▲ 20
購買関連	40	鉄鉱石 10、石灰 5、油類 5、ニッケル原料 20	20
コスト改善等	5	合理化等	5
子会社等	▲ 10	海外子会社等▲10	▲ 10
在庫評価	▲ 25	▲25→▲50(内ステンレス▲15→▲30)	▲ 15
計	▲ 45		▲ 20
H27年度10-12月 (実績)	▲ 9		▲ 40

## 4. 貸借対照表 (H27年12月末)

(億円)

		対H27/3末				対H27/3末		
現預金	227	▲	35	有利子負債	2,837	▲	60	
売上債権	783	▲	6	その他の負債	2,050	▲	36	
たな卸資産	1,396	▲	45	負債合計	4,888	▲	97	
その他流動資産	204	▲	104	資本金・資本剰余金	1,063	▲	147	
有形・無形固定資産	2,832		54	利益剰余金	847		106	
投資等	2,060	▲	63	自己株式	▲	5	▲	0
				その他の包括利益				
				累計額	638	▲	43	
				非支配株主持分	72	▲	17	
資産合計	7,505	▲	200	純資産合計	2,616	▲	102	
				負債・純資産合計	7,505	▲	200	

## II. 平成27年度業績予想

## 1. 損益状況等

(億円)

	No	H27年度			H27年度 (前回予想)	H26年度 (実績)	差異	
		上期(実績)	下期(予想)	(今回予想)			① c-d	② c-e
売上高	1	2,767	2,723	5,490	5,610	6,175	▲ 120	▲ 685
営業利益	2	63	47	110	125	210	▲ 15	▲ 100
経常利益	3	94	76	170	190	161	▲ 20	9
普通鋼・特殊鋼	3							
ステンレス	4	▲ 40	▲ 65	▲ 105	▲ 95	35	▲ 10	▲ 140
計	5	54	11	65	95	196	▲ 30	▲ 131
親会社株主に帰属する当期純利益	6	20	▲ 10	10	45	169	▲ 35	▲ 159
在庫評価	7	▲ 20	▲ 40	▲ 60	▲ 40	▲ 25	▲ 20	▲ 35
普通鋼・特殊鋼	7							
ステンレス	8	▲ 30	▲ 50	▲ 80	▲ 45	25	▲ 35	▲ 105
計	9	▲ 50	▲ 90	▲ 140	▲ 85	0	▲ 55	▲ 140
経常利益	10	114	116	230	230	186	0	44
普通鋼・特殊鋼	10							
〈実力ベース〉	11	▲ 10	▲ 15	▲ 25	▲ 50	10	25	▲ 35
ステンレス	11							
計	12	104	101	205	180	196	25	9

## 2. 諸元

	No	H27年度			H27年度 (前回予想)	H26年度 (実績)	差異	
		上期(実績)	下期(予想)	(今回予想)			① c-d	② c-e
粗鋼生産量	1	158	161	319	322	327	▲ 3	▲ 8
(万トン)								
普通鋼・特殊鋼	1							
ステンレス	2	34	32	66	66	71	0	▲ 5
計	3	192	193	385	388	398	▲ 3	▲ 13
販売数量	4	150	154	304	304	321	0	▲ 17
(万トン)								
普通鋼・特殊鋼	4							
ステンレス	5	25	28	53	53	60	0	▲ 7
計	6	175	182	357	357	381	0	▲ 24
鋼材平均単価 (千円/トン)	7	122	114	118	118	127	0	▲ 9
輸出比率 (金額ベース, %)	8	16	14	15	16	17	▲ 1	▲ 2
輸出為替レート (円/ドル)	9	122	121	121	121	109	0	12

## 3. 経常利益差異内訳

①H27年度通期 (前回予想) 対 H27年度通期 (今回予想)

(億円)

(内ステンレス)

H27年度通期(前回予想)		95	変動要因		▲ 95
変動要因	販売関連	▲ 30	価格差▲30、数量構成差 0		0
	購買関連	70	鉄鉱石 15、石炭 5、油類 10、ニッケル原料 25		40
	コスト改善等	0			0
	子会社等	▲ 15	海外子会社等▲15		▲ 15
	在庫評価	▲ 55	▲85→▲140(内ステンレス▲45→▲80)		▲ 35
計	▲ 30			▲ 10	
H27年度通期(今回予想)		65			▲ 105

## ②H26年度通期（実績） 対 H27年度通期（今回予想）

（億円）

（内ステンレス）

H26年度通期(実績)		196	変動要因	35
変動要因	販売関連	▲ 345	価格差▲330、数量構成差▲75、輸出為替差 60	▲ 135
	購買関連	410	鉄鉱石 250、石炭 45、油類 105、ニッケル原料 185、 輸入為替差▲225	155
	コスト改善等	4	合理化等	0
	子会社等	▲ 60	海外子会社等▲60	▲ 55
	在庫評価	▲ 140	0→▲140(内ステンレス 25→▲80)	▲ 105
計		▲ 131		▲ 140
H27年度通期(今回予想)		65		▲ 105

## 4. 株主還元

連結業績に応じた安定的な配当を念頭に、足元の業績および今年度の見通しを踏まえ、1株当たり25.0円の期末配当を実施。

なお、年間では1株当たり40.0円の配当を実施。

## 〔参考〕有利子負債・ネットD/Eレシオ

	H26/3末	H27/3末	H27/12末
手許預金(億円)	408	263	227
有利子負債(億円)	3,235	2,898	2,837
ネットD/Eレシオ	1.36	1.00	1.03
〃 (格付ベース) ※	1.11	0.86	0.88

※ 日本格付研究所の格付評価上、資本性が認められるハイブリッド証券/ハイブリッドローンについて、元本の50%を資本とみなした場合のネットD/Eレシオ  
(H26/3末は500億円の50%、H27/3末およびH27/12末は400億円の50%を、それぞれ資本に算入)

以上